ゲスト紹介

菅谷 昭（すげのや あきら）

医学博士　松本市長4期　元松本大学学長
1991年より単独でチェルノブイリ原発事故被災地のベラルーシへ行き、現地の調査・検査の後、1996年に日本で「チェルノブイリ・福島医療基金」を設立。
資金を集め医療機器等を購入しベラルーシへ運び、更に5年間、本格的にベラルーシの子どもたちの甲状腺がんの治療や支援活動を行った。帰国後はベラルーシの医師を日本に召請して支援も行った。

著書：「子どもたちを放射能から守るために」「原発事故と甲状腺がん」
「ぼくとチェルノブイリのこどもたちの5年間」「これから100年放射能と付き合うために」
「新版 チェルノブイリ診療記 福島原発事故への黙示」

永田 文夫（ながた ふみお）

「三陸の海を放射能から守る岩手の会」世話人　元岩手県立工業高校で理数科教師。
1971年新日鉄釜石工場公害問題で分析に協力。1972年高教組公害調査委員会の委員。
2005年青森県六ケ所村再処理工場から膨大な放射能が海洋放出されていると知り、「三陸の海を放射能から守る岩手の会」を結成。
福島原発事故後は再処理工場の重大事故の阻止、再処理廃止に取り組む。（活動例：①2006年岩手県議会「三陸の海を守る請願」全会一致で採択へ、②2007年「海に空に放射能を流さないことを求める署名」10万6千筆を国に提出、③アクティブ試験後は汚染状況を調査しマップ作成、④国会議員と共に国へ質問主意書提出、ヒアリングにパネラーとして参加、⑤東海再処理問題ではJAEA・東海村へ質問要請。）

著書：「セラフィールド再処理工場の仮想事故によるノルウェーへの影響」（ノルウェー政府刊行物翻訳と解説）
「なぜ今『魚の汚染』か」冒頭で「六ヶ所再処理工場放出放射能による海洋汚染」を執筆
「再処理工場の核惨事」に執筆

DVD「英仏に学ぶ核燃料サイクル」

ラ・アーグの現状、MOX工場の問題、放射能の拡散、核と原発など仏市民団体や国会議員にインタビュー。英国へは複数の英市民団体にプルトニウム利用・処分について問う。

2026.10.31　原発・核燃からの撤退を！関西集会

賛同団体・個人

原発設置反対小浜市民の会　日本基督教団核問題特別委員会　夕雲舎　東部大阪共同購入会　現代を問う会　憲法9条の会・関西　ストップ・ザ・もんじゅ　若狭の原発を考える会　社民党大阪府連合　原発の危険性を考える宝塚の会　全港湾労働組合関西地方大阪支部　オルター　日本ウクライナ文化交流協会　平和で豊かな枚方を市民みんなでつくる会　みのおピースリボンの会　社民党兵庫県連　子どもを被ばくから守る会　管理職ユニオン関西　使い捨て時代を考える会　ℐ女性会議・京都　さよなら原発尼崎住民の会　コープ自然派おおさか　ℐ女性会議・大阪　新社会党大阪府本部　さよなら原発1000人集会実行委員会　大阪全労協　原発おことわり三重の会　子どもたちに未来をわたしたい・大阪の会(9/2現在)

鈴木富美　宍戸恵子　横山義弘・恵子　山本将嗣　小針和久　奥山脩二　西村秀明　筏津美佐子　中村愛恵　坂和 優　堀田美恵子　上田恵子　八尋久美子　竹林久榮　木村 真　守田敏也　更家周子　佐野万里　池尻京子　黒河内繁美　髙橋もと子　池島芙紀子　井上真美子　田中節子・陽子　関 昭人・志保子　北口ひとみ　木村洋子　後藤由美子　坂口善雄(9/2現在)

☆集会を成功させるため、ぜひ賛同にご協力ください！

団体1口　2000円、 個人1口　1000円、 郵便振込　00950-2-119556　ストップ・ザ・もんじゅ